

わ 輪ゴムで飛ぶロケット

<p>必要な道具等</p>	<p>画用紙 (1枚)、トイレットペーパーの芯 (1個)、輪ゴム (2本)、 セロハンテープ (1個)、定規 (1枚)、ハサミ (1丁)、 えんぴつ (1本)、消しゴム (1個)</p>
---------------	---

＜実験方法＞

(1) 発射台

① 画用紙を約 27 cm × 23 cm の大きさに切り、丸めて

直径が約 2.5 cm で長さが約 23 cm の筒を作る。

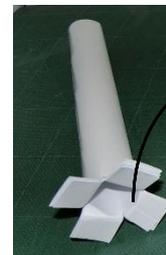
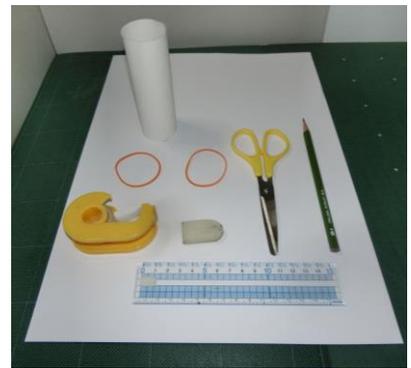
② ①で作った筒の下から約 2 cm 切り込みを 4 か所、

ハサミで入れる。この切り込みを外側に折り返す。

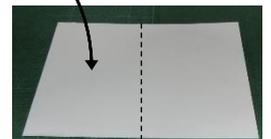
③ 残った画用紙を半分に切る。切った画用紙のうち

の一枚に②の筒を立て、折り返しの部分をセロハ

ンテープで固定する。



セロハンテープで固定



(2) ロケット

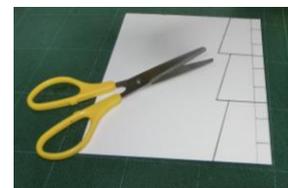
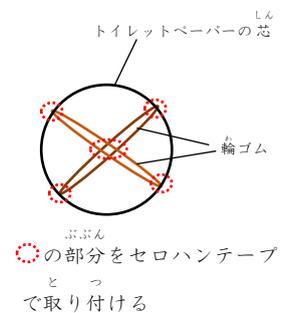
④ トイレットペーパーの芯の先端に、輪ゴム 2 本を交差するように

と取り付け、セロハンテープで固定する。

※この時、輪ゴムが外れないようにしっかりとめる。

⑤ 残りの画用紙でロケットの尾翼を 3 枚作りセロハン

テープでロケットに取り付ける。



(3) ロケットを飛ばす

- ⑥ ロケットを筒の上からいれて、ロケットの後ろを指でつかんで下の方に引く。指を離すとロケットが発射される。

【注意】

- 発射するときに、ロケットを上からのぞきこまないようにしましょう。
- 人に向けて飛ばすと、けがをすることがあります。飛ばすときは、まわりに人がいないことを確かめてから飛ばしましょう。



<仕組み・原理>

引き伸ばされた輪ゴムが戻る時に力が出ます。この力を利用してロケットが飛びます。

<工夫してみよう>

- ロケットや尾翼の形を工夫してみましょう。
- ロケットにサインペンで好きな色をぬったり、絵を描いたりして、自分だけのロケットにしましょう。